

1994.

- 2) 野村靖幸, 東田道久: ポツリヌス毒素によるイノシトールリン脂質代謝の抑制, 文部省科学研究費総合研究(A)「細胞情報伝達における3量体G蛋白質の生理的役割」研究成果報告書, 91-98. 1994.
- 3) 野村靖幸: 神経系情報伝達による免疫系細胞の細胞内情報伝達機構の研究, 平成元~3年度科学技術振興調整費「生体情報伝達機構の解析・制御技術の開発に関する研究」研究成果報告書, 116-130. 1994.
- 4) 野村靖幸: 脳情報伝達系の老化と抗老人生癡呆薬開発の基礎薬理学的研究, 秋山記念生命科学振興財団研究成果報告集, 6, 11-14. 1994.
- 5) 野村靖幸, 有馬隆, 東田道久, 伊藤奈緒子: NG-108-15細胞のcGMP産生系に対するリチウムの作用, 厚生省精神・神経疾患研究委託費「感情障害の神経科学的成因および治療に関する研究」平成5年度研究報告書, 1994.

免疫機能制御

客員教授 韓 銳

◆ 研究概要

本部門では和漢薬が担癌機体の免疫機能にたいする作用と癌にたいする化学予防作用を研討し且つ和漢薬の癌細胞に対するapoptosis誘導とcell communication に対する影響と癌の侵潤と転移との関係を究明する事を目標としています。本年度は主として下記の通り研究を続けている。

- 1) 数種類の漢方薬と植物成分の癌細胞の増殖抑制と侵潤, 転移に対する影響の研究.
- 2) Harringtonine, homoharringtonine が人前髄白血病細胞HL-60にたいするapoptosis誘導とその機作.
- 3) 丹参と五倍子の有効成分の癌に対する化学予防作用と抗酸化作用.

◆ 著 書

- 1) 連利絹主編, 婦科腫瘍学, 第二章抗腫瘍薬及其選択人民衛生出版社, 北京, 1994,

◆ 原 著

- 1) 李林, 韓銳, 一種抗 all-trans-retinoic acid 分化誘導の亜系的特性, 中国薬理学及毒理学雑誌 8 (3): 191-195, 1994,
- 2) 李林, 劉紅岩, 韓銳. All-trans-retinoic acid 誘導HL-60細胞分化の時相動力学特点. 中華腫瘤雜誌 (4): 255-257, 1994,
- 3) 李林, 夏利絹, 韓銳. 三尖杉酯鹼, 高三尖酯鹼誘導人早幼粒白血病細胞的程序性死亡. 薬学学報 29 (9): 667-672, 1994.
- 4) 陳曉光, 韓銳. 甘草次酸对benz(o)pyrene誘発DNA損傷及非程序DNA合成的影響. 薬学學報, 29 (10): 725-729, 1994.
- 5) 程青, 顧企民, 韓銳. 維生素甲酸類化合物N-4-(carboxyphenyl) retinamide 在大鼠体内的薬代動力学. 中国薬理及毒理学雑誌 8 (2): 143-146, 1994.

◆ 総 説

- 1) Rui Han Highlight on the studies of anti-cancer drugs derived from plants in China. Stem Cells 12: 53-63, 1994.
- 2) Han Rui (韓 銳) Recent progress in the study of anticancer drugs originating from plants and Traditional medicine in China. Chinese Medical Sciences J. 9(1): 61-69, 1994.

◆ 学会報告

- 1) Rui Han & P.G. Xiao Recent advances on the studies of anticancer drugs originating from medicinal plants and Traditional medicine in China. International Conference on Medicinal Plants. October 12-14, 1994, Beijing.